

9月23日のウクライナ情報

安齋育郎

●プーチン大統領、演説 2022年9月21日（フルスピーチ）

<https://www.youtube.com/watch?v=ZkVrbV4b7Jk>



※安齋注:これはプーチンのこの戦争に対する認識や現状をどう見ているかを理解するうえで大事な演説です、分かり易い日本語字幕が入っています。

●東部・南部ウクライナ、ロシア編入住民投実施(2022年9月21日)

9月23日～27日に住民投票を行う所:ルガンスク、ドネツク、ザポロージャ、ヘルソン。



※安齋注:2022年9月19日、社会マーケティング研究所がザポロージャ(ザポロジエ)とヘルソンの両州およびドネツク、ルガンスク両人民共和国の住民を対象に、ロシア連邦への編入を問う住民投票の即時実施を望むかどうかについて、電話による世論調査を行った結果、「住民投票の実施を望む」と回答した人の割合はザポロージャ、ヘルソンの両州で各80%、ドネツクで91%、ルガンスクで90%だった。だから、住民投票を実施すれば、ロシア編入を望む票が多数を占めることは容易に推定できる。

ドネツクとルハンスクは一応「共和国」ではあるが、非支配地域もあるし、そもそもウクライナは独立国家として認めていない。ザポロージャとヘルソンは、ロシア支配地域がそれなりに大きな割合を占めているとはいえ、ウクライナ政府から見ればウクライナの一地方の州に過ぎない。その住民投票で他国への帰属が決まるなどとはつゆ思っていない。

日本のどこかの県が県民投票で「うちはアメリカになる」と結論したからといってアメリカになれる訳じゃないですね。ドネツクとルハンスクの場合は2014年4月に「独立」を宣言して「国」になったと主張しているが、国家として認知している国は、国連加盟国ではロシアと北朝鮮だけだ。ウクライナ政府は「ドネツクやルハンスクはウクライナの一地方なのであって、独立国家ではない」としている。

まして、ザポロージャやヘルソンの場合は、まずもって独立を宣言することになるのだろう。その上で、投票結果に基づいてロシア連邦に帰属すると決めるという手順だろうが、かなりややこしいことになるだろう。



●ロシア一部動員令(2022年9月22日)

軍登録事務所が混雑しています。



●ロシア国内に一部動員令、ロシア人の反応(2022年9月22日)

※安齋注:戦争に行きたくない人、この際「祖国のために」と張り切っていく人、色々いるでしょうね。早く戦争をやめたいですね。

<https://twitter.com/Jano661/status/1572882899028049920?s=20&t=yRN2VLjLy9AoKSUPIuRsw>

●カタルーニャが住民投票でスペインからの独立勝利宣言(2017年10月7日)

ドネツク、ルハンスクと似たような事情がスペインにはずっとあります。

<https://www.asahi.com/articles/ASKB22J95KB2UHBI005.html>

(参考資料)カタルーニャ独立運動は、スペインからのカタルーニャ州の独立を目指す政治運動で、スペイン中央政府がカタルーニャ民族を軽視するような言動を繰り返したこと、カタルーニャ州が税金として支出する金額とスペイン中央政府から還元される金額に大きな隔たりがあること、この2点が理由で2010年代に独立運動が盛んにな

った。

特に、上に紹介した 2017 年のカタルーニャ独立住民投票に関連して、中央政権と州政府の激しい対立と、その結果としての自治権の一時廃止、州首相の事実上の亡命に至ったことから、海外メディアでは「カタルーニャ危機(紛争)」などと呼ばれた。

●ロシアが併合しても、ウクライナ軍は攻撃を続ける(日経、2022 年 9 月 21 日)

<https://www.sankei.com/article/20220921-4PP56K4EONMFZFFF2UU5FN4IXA/?s=09>

ロシアによるウクライナ侵攻で、ロシア側がウクライナ東部2州と南部2州の支配地域で露編入の是非を問う「住民投票」の実施を発表したことについて、ウクライナのクレバ外相は20日、「わが国には領土を解放する権利があり、ロシアが何をいおうと領土を解放し続ける」とツイッターで表明した。ロシアが住民投票を口実に支配地域を「併合」しても、反攻作戦を続ける意思を示した形。

「住民投票」の決定について、欧州連合(EU)のボレル外交安全保障上級代表は20日、「露指導部や関係者の全員が責任を問われる」とし、「追加の対露制裁措置が検討される」と述べた。米国やカナダ、フランスもロシアを非難した。ロイター通信が伝えた。

一方、メドベージェフ露国家安全保障会議副議長は20日、住民投票後の占領地域の併合を念頭に「露領土が侵害された場合、ロシアは全ての自己防衛手段を使用できる」と指摘。ウクライナに反攻の断念を迫ったものとみられる。

「住民投票」は20日、東部ドンバス地域(ドネツク、ルガンスク両州)の主要部を実効支配する親露派武装勢力「**ドネツク人民共和国**」と「**ルガンスク人民共和国**」、露軍が南部ヘルソン州とザポロジエ州の占領地域に設置した「**軍民行政府**」が23～27日に実施するとそれぞれ発表した。

●冬が来た(2022 年 9 月 18 日)

ウクライナの西端の地方カルパチア。 -3℃、積雪 40cm。冬が来ています。



●スペイン人は、暗闇に対する光の勝利の象徴として、大聖堂に文字 Z を付けました。(2022 年 9 月 16 日)

スペインでは、反ファシストの立場は非常に一般的です。



●ドネツクへのウクライナ軍の砲撃(2022年9月19日)

<https://odysee.com/@Jano:7/UkraineShelling:5#:~:text=%E3%80%90%E9%96%B2%E8%A6%A7%E6%B3%A8%E6%84%8F%E3%80%91-,%E3%82%A6%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%8A%E3%83%89%E3%83%8D%E3%83%84%E3%82%AF%E5%B8%82%E8%A1%97%E5%9C%B0%E3%81%B8%E3%81%AE%E6%94%BB%E6%92%83,-2022.09.19>



●ウクライナで拷問を受けた特派員の話(2022年9月21日)

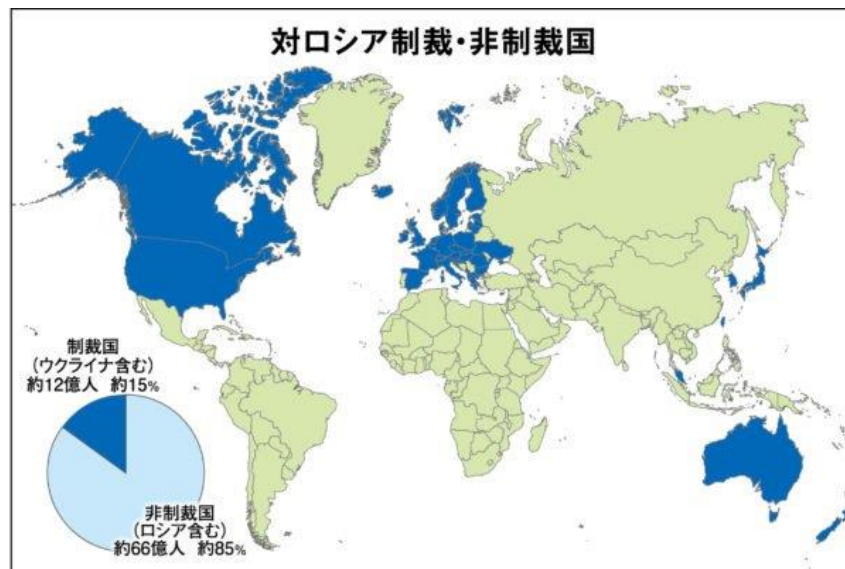
—拷問センターには何人の人が連れて行かれたと思いますか？

何千人も。そこでは多くの人々を拷問していました。

私はつばを吐かれ、足を蹴られ、侮辱されました。一人の男は私の手のひらでタバコの火を消しました。

https://twitter.com/Kumi_japonesa/status/1572378667812261892?ref_src=twsrc%5Etfw%7Ctwcamp%5Etweetembed%7Cwterm%5E1572378667812261892%7Ctwgr%5E68c8635c70e1f04907f461e2e048fcc38f9f349c%7Ctwcon%5Es1&ref_url=https%3A%2F%2Fblog.goo.ne.jp%2Fyaya2001%2Fe%2F48553e5d59a9458ce9670efc3bb838fb

●対ロ制裁国と非制裁国



●カービー報道官のポロリ(2022年9月22日)

「アメリカ・カナダ・イギリスが8年前から準備してきた結果だ！」

※安齋注:考えてみると、広島・長崎原爆を開発したチームだなあ。

🇺🇸 国防総省のカービー報道官は、📺 生放送中に、🇺🇦 軍が健闘していることを称える中で、「🇺🇸 🇨🇦 🇬🇧 が8年前から準備・訓練・供給してきた結果だ！」と、ポロッと8年前から仕込んである代理戦争であることを話してしまう

